

黒のボールペンではっきりと記入してください。（消せるボールペンは使用しないでください）

原則として令和8年7月1日現在の状況により記入してください。

7月2日以降に家計が急変し、申請を行う場合にあっては、申請を行う月の翌月（申請を行う日が月の初日である場合は、申請を行う月）の1日現在の状況により記入してください。

令和8年〇月〇日

必ずご一読のうえ、□に✓印をつけてください。（5つ全て）

記入した日付（7月1日以降）

- この申請書の記載内容は、事実に相違ありません。
- この申請書に虚偽の記載があった場合は、高知県の求めに従いその全額を即時返還してください。
- 私は高知県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っていません。
- この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅費、高校生等を除く）の支弁対象ではありません。
- 高知県高校生等奨学給付金の支給要件の該当性等を審査するため、対象となる高校生等受給資格等の確認を行うことなど当該給付金に係る事務処理上必要がある場合は、併せて同意します。

児童福祉法による児童入所施設（母子生活支援施設を除く）に入所中で、見学旅行費又は特別育成費が措置されている場合は、給付の対象外となります。

住所は、住民票の住所を記入してください。

〒999-9999 高知県 〇〇市〇〇町99番地 △△アパート101号室		ふりがな	クロシオ	カツオ
申請者氏名		黒潮	勝男	
連絡先:電話番号	TEL 080-9999-9999	生年月日	昭和〇年〇月〇日	
高校生等との関係	親権者・未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者・高校生等本人・その他（ ）			
給付金の払込口座（申請者名義の口座に限りです。）				
金融機関名	店舗名	預金種別	口座番号	
四国銀行	県庁支店	① 普通当座 2	0 1 2 3 4 5 6	フリガナ 口座名義 クロシオ カツオ 黒潮 勝男

記入した振込口座の分かるもの（通帳の写し等）を提出してください。

【1】記入が必要となる様式について

（次の①～④のいずれかの□にレ印を付けて、申請に必要な様式に記入してください。様式1-3はすべての申請で記入が必要な様式です。別紙は記入上の注意です。）

①	<input checked="" type="checkbox"/>	高等学校等就学支援金等の認定を受けており、申請者の在住する都道府県と高校生等が通う学校の所在する都道府県が異なります。 ⇒ 様式1-2の【1】・【2】、様式1-3 を記入してください。
②	<input type="checkbox"/>	高等学校等就学支援金等の認定を受けており、申請者の在住する都道府県と高校生等が通う学校の所在する都道府県が異なります。 ⇒ 様式1-2の【1】・【3】・【4】、様式1-3 を記入してください。 【国籍・在留資格等が確認できる書類を添付】
③	<input type="checkbox"/>	高等学校等就学支援金等の認定を受けており、申請者の在住する都道府県と高校生等が通う学校の所在する都道府県が異なります。 ⇒ 様式1-2の【1】・【3】・【4】、様式1-3 を記入してください。 【国籍・在留資格等が確認できる書類を添付】
④	<input type="checkbox"/>	高等学校等就学支援金等の認定を受けており、申請者の在住する都道府県と高校生等が通う学校の所在する都道府県が異なります。 ⇒ 様式1-2の【1】・【3】・【4】、様式1-3 を記入してください。 【国籍・在留資格等が確認できる書類を添付】

高等学校等就学支援金等の認定状況と、在住の都道府県について、①～④の該当箇所に✓をしてください。記入箇所・添付書類が異なるのでご注意ください。（記入例は①に該当する場合のものです。）

※高等学校等就学支援金等に含まれる事業  
ア 高等学校等就学支援金、イ 高等学校等修学支援事業費補助金（高校生等・新修学支援）、  
ウ 高等学校等修学支援事業費補助金（学び直しへの支援）

様式1-2に続く

【1】対象となる高校生等について

フリガナ	クロシオ	タロウ	生年月日	昭和 平成	〇年〇月〇日
氏名	黒潮	太郎	学年・年齢	〇年	※令和8年7月1日現在年齢 〇歳
在学する学校	学校の名称	高知県立〇〇高等学校 国立・公立・私立			
	学校の所在地	高知 都道府県 高知 市区町村 ××町1〇〇番地			
	在学期間	令和〇年〇月〇日 ~	※当校での高知県高等学校等専攻科奨学給付金の受給回数は今回で何回目ですか。(〇で囲む。)		1回目 2回目 3回目・( )回目
過去の高校における	学校名	高知県立〇〇高等学校 (修学年限: 2年)	令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日	学校の種別・課程・学科 ①高等学校(全日制)	在学中に給付金を受給した回数 なし 1回 2回 3回 4回 不明 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	現在在学している学校以外で、過去に高等学校等に在学していた場合は、もれなく記入してください。				在学中に給付金を受給した回数 なし 1回 2回 3回 4回 不明 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
					在学中に給付金を受給した回数 なし 1回 2回 3回 4回 不明 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

【2】高等学校等就学支援金等の認定状況について

(高校生等の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等を確認するため、次に該当する場合は、口にレ印を付けてください。)

高校生等本人の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等の確認のため、以下のとおり申請します。

高等学校等就学支援金等の認定を受けています。

※高等学校等就学支援金等に含まれる事業

- ア 高等学校等就学支援金、イ 高等学校等修学支援事業費補助金(高校生等・新修学支援)、ウ 高等学校等修学支援事業費補助金(学び直しへの支援)

【3】高校生等の国籍・在留資格・在留期間等について

(次のいずれかの該当する口にレ印を付けてください。)

(1) 高校生等本人の国籍を以下のとおり申請します。

- ①  日本国
- ②  日本国以外

(上記(1)で②「日本国以外」を選択した場合は、次の③~⑤のいずれかの該当する口にレ印を付けてください。また、必要事項を記入してください。)

(2) 高校生等本人の国籍及び在留資格・在留期間等を以下のとおり申請します。

③	<input type="checkbox"/> 特別永住者				
④	<input type="checkbox"/> 永住者				
⑤	<input type="checkbox"/> 日本人の配偶者等	在留期間(満了日)	(西歴)	年	月 日
⑥	<input type="checkbox"/> 永住者の配偶者等				
⑦	<input type="checkbox"/> 定住者	在留期間(満了日)	(西歴)	年	月 日
		日本国に永住する意思の有無	<input type="checkbox"/>		
⑧	<input type="checkbox"/> 家族滞在	在留期間(満了日)	(西歴)	年	月 日
		日本国の小学校の卒業の有無等	小学校名		
			所在地		
		日本国の中学校の卒業の有無等	中学校名		
			所在地		
		日本国で就労する意思の有無	<input type="checkbox"/> はい(あり)	<input type="checkbox"/> いいえ(なし)	
⑨	<input type="checkbox"/> 上記以外の在留資格(留学等)	在留期間(満了日)	(西歴)	年	月 日

【3】については、  
様式1-1の【1】が  
①の場合記入不要  
②・③・④の場合記入必要

裏面に続く

**【4】高校生等の国籍・在留資格・在留期間等の確認書類について**

(生徒の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等を確認するため、次の①～④のいずれかの口にレ印をつけてください。)

※日本国籍の生徒は①のみ選択可能

高校生等本人の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等の確認のため、以下のとおり申請します。

①  「住民票の写し（市町村の発行したもの。原本。コピー不可。）」を添付します。

※国籍が「日本国」の生徒は、必ず、本籍地が記載されたものであること。

※国籍が「日本国」以外の生徒は、必ず、国籍・在留資格・在留期間等が記載されたものであること。

②  「特別永住者証明書の写し（コピー）」を添付します。

③  「在留カードの写し（コピー）」を添付します。

④  以下に該当するため、①～③のいずれの書類も添付しません。

以下のすべてに該当

- ・令和8年3月31日以前から引き続き在学している者
- ・国籍が「日本国以外」
- ・「生活保護受給世帯」又は「令和8年度の住民税が非課税である世帯」

かつ

以下のいずれかに該当

- ・在留資格が「定住者」で、日
- ・在留資格が「家族滞在」で、日
- ・在留資格が「家族滞在」で、日

【4】 については

様式1-1の【1】が

① の場合記入不要

② ・③・④の場合記入必要

**(②・③・④は添付書類も必須)**

(在留資格が「家族滞在」であって、下記のすべてに該当する場合は、⑤⑥の口にレ印を付けて、必要書類の添付をしてください。)

・ 【3】 (2) ⑧の「日本国の小学校及び中学校の卒業の有無等」について『卒業した』に☑を付けた

・ 【3】 (2) ⑧の「日本国で就労する意思の有無」について『はい(あり)』に☑を付けた

⑤  「日本国の小学校の卒業証書の写し（コピー）又は卒業証明書」を添付します。

⑥  「日本国の中学校の卒業証書の写し（コピー）又は卒業証明書」を添付します。

様式1-3に続く

【1】保護者等の家計急変の状況について

次の者の家計の状況の確認書類を提出します。(該当する□にレ印を付けてください。)

①	<input checked="" type="checkbox"/>	親権者（両親）2名分
②	<input type="checkbox"/>	親権者1名分 (親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。) ・離婚、死別等により親権者が1名の場合、 ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書等を提出できない場合 等
③	<input type="checkbox"/>	未成年後見人（ ）名分 ・親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合 (未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分) ※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。
④	<input type="checkbox"/>	高校生等の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者)(両親等)の名分 ・高校生等が在学中に成人した場合で、成人維持する者に変更がない場合
⑤	<input type="checkbox"/>	主たる生計維持者1名分 ・親権者又は未成年後見人が存在しない場合 ・成人に達しているが主たる生計維持者が存在しない場合
⑥	<input type="checkbox"/>	高校生等本人 ・親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者がない場合 等

【令和8年7月1日時点で生徒が成人している場合】

生徒が在学中に成人した場合で18歳となる日の前日において親権者（両親）が2人存在する場合は④、親権者が1名存在する場合は、⑤にレ印を付けてください。

家計の状況の確認書類を添付する者の氏名及び生徒との続柄を記入してください。

氏名	生徒との続柄	氏名	生徒との続柄
高知 勝男	父	高知 花子	母

※下記内容の確認の上、□にレ点を付けてください。

<input checked="" type="checkbox"/>	私の世帯は、認定基準日において、生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による生業扶助は受給していません。
-------------------------------------	---

令和8年7月1日（※）時点で生活保護における高校生等本人に係る生業扶助（高等学校等就学費）が措置されていないことを確認するため、必ず□にレ印が必要です。

※7月2日以降に家計が急変した場合は、申請を行う月の翌月1日時点  
(申請日が月の初日であるときは、申請を行う月の1日時点)